

1 秋保神社



平安期に発祥の由来を持つ秋保地域の中心の神社。まずお参りして、登山の安全祈願をして出発。神社の少し先から田圃の中の道に入り、戸神山を仰ぎながらまっすぐ進みます。

2 泉口ため池(イノシシの柵)

戸神山山麓の雨水を集め、長袋水田地帯を潤すため池のひとつ。池の手前に地元の人が設置したイノシシ防護柵があります。金具を開けて通ったら、原状復帰を忘れずに。



3 新田分岐



かつてはバスも通ったという旧白沢峠からの道と旧町道加沢・新田線の分岐。ここから左に入ります。緩やかな登りとなり、動物の足跡や鳥のさえずりが、多くなってきます。

4 戸神覗きとセイゾウ池



道の右手に、かつて田圃だった平地の木立の切れ間から戸神山が見えてくると、すぐに小さな池に着きます。この付近の田圃に水をひいた溜池が残ったもので、春には池の上の木立に珍しいモリアオガエルの産卵が見られます。池面に映る木々が美しい。

5 古道分岐



平らできれいな沢床の小さな流れを横切ってすぐに左の古道に入り、沢を右手に見ながら進みます。

6 黒森沢の越場



ぐにやりと幹が曲がった杉のところから、黒森沢を横切って進むと、だんだん登りが急になってきます。

7 戸神山山頂



女戸神山との鞍部から急坂(熊落坂)を登った標高504mの頂上からは、二口の山々から秋保の里、晴れば太平洋までの大展望。水神信仰を伝える祠が鎮座しています。

8 白い広場



鞍部から東へ杉林を抜けて尾根の道を下りてゆくと、白くもろい岩が目立ち始め、開けた広場に出ます。ここから白沢峠方面へ。

9 旧白沢峠分岐



白沢峠方面に進むと、かつてのバス通りとの分岐、旧白沢峠です。鋭角に下る道に入り、泉口ため池方面へ向かいます。

10 旧日本軍軍事倉庫跡



道の右手少し上を注意して進むと、柔らかそうな岩に大きな穴が。つるはしなど手作業で掘った旧日本軍の弾薬庫跡とも伝わっています。中の暗がりにはコウモリの恰好の住処になっています。(土がもろいので、見学は要注意!)



秋保神社 戸神山山頂 約2.5km 上り90分 下り60分 往復150分



※このコースは山歩きコースです。植物など切ったり採ったりせず、ごみは持ち帰り、安全第一でたどりましょう。一人で入る時には、熊よけのため、音の鳴るものを身につけましょう。